



平成 21 年 2 月 6 日

各 位

会 社 名 日本高周波鋼業株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 池田 辰雄
 コード番号 5476
 問 合 せ 先 常務取締役管理部長 田中 慶壽
 (TEL. 03-5687-6025)
 当社の親会社 株式会社神戸製鋼所
 代 表 者 名 取締役社長 犬伏 泰夫
 コード番号 5406

業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 9 月 11 日に公表した平成 21 年 3 月期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)の通期業績予想及び期末配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	58,500	1,650	1,500	900	6.13
今 回 修 正 予 想 (B)	49,000	△ 230	△ 350	△ 1,450	△ 9.88
増 減 額 (B-A)	△ 9,500	△ 1,880	△ 1,850	△ 2,350	――
増 減 率 (%)	△ 16.2	――	――	――	――
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 20 年 3 月期)	53,424	2,688	2,504	1,860	12.68

(2) 平成 21 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益 円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	44,000	450	500	350	2.39
今 回 修 正 予 想 (B)	37,000	△ 350	△ 300	△ 850	△ 5.79
増 減 額 (B-A)	△ 7,000	△ 800	△ 800	△ 1,200	――
増 減 率 (%)	△ 15.9	――	――	――	――
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 20 年 3 月期)	40,126	2,002	2,111	1,727	11.77

(3) 修正の理由

自動車メーカー各社の相次ぐ減産発表に代表されるように当社グループの主要顧客である自動車および建設機械向け製品などの需要が、下期に入りなかならず1-3月期に急激に減少しております。このような予想を大幅に上回る需要減により、連結売上高は49,000百万円に、個別売上高は37,000百万円にとどまる見込みであります。

経常損益については、鉄スクラップやニッケルなど、原料・燃料価格の下落があったものの、急激かつ大幅な需要の下振れや棚卸資産の評価損などによって、連結・個別ともに前回予想を大きく下回る見通しです。特に1-3月期は急激な需要減に伴い、全部門において大幅な採算の悪化が見込まれ、連結経常損失350百万円、個別経常損失300百万円となる見込みです。当期純損益については、繰延税金資産の取崩しにより連結当期純損失1,450百万円、個別当期純損失850百万円となる見込みです。

2. 期末配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想 (平成20年4月25日)	0.0	3.5	3.5
今回修正予想	————	(未定)	(未定)
当期実績	0.0	————	————
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	0.0	3.5	3.5

(2) 修正の理由

当社は安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向、持続的成長のための投資資金としての内部留保などを総合的に勘案の上、配当額を決定しております。

しかしながら、当期の期末配当金につきましては、足元の経営環境の変化が急激であり、かつ、先行きが不透明なため、現時点では未定とし、当期の通期実績および来期の業績見通しを勘案して、改めて提案させていただきます。

※上記の予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。

以 上